

区分	対策内容	実施主体						工程			ページ	令和5年度取組内容 ※令和6年3月末見込み
		県土木事務所	県地方振興事務所	大河原町	村田町	柴田町	土地改良区	短期 概ね5年	中期 概ね10年	長期 概ね20年		
対策1 氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策 (河川区域や集水域における対策)	1 河道掘削や支障木伐採	●									3	1 河道掘削L=1,300m(新川)【県土木】 2 支障木伐採A=26,800m ² (荒川、白石川)【県土木】
	2 河川狭窄部となる巻橋の撤去			●	●						4	更新なし
	3 堤防強化	●									5	1 堤防嵩上げL=900m(荒川)【県土木】 2 堤防天端舗装A=2,200m ² (荒川)【県土木】
	4 雨水貯留機能の拡大(田んぼダム)		●	●	●						6	1 多面的組織(農家中心のほ場関係者で構成)の役員への説明、啓発を実施【大河原町】
	5 流水の貯留(村田ダム・ため池)		●	●	●	●					7	1 令和5年9月から10月にかけて水位を下げ、72万m ³ の洪水調整可能容量を確保【村田町】
	6 雨水貯留機能の拡大(各戸貯留、校庭貯留等)			●	●						8	1 開発協議(1000m ² 以上)の申請者に対し、貯留機能対策を口頭依頼【大河原町】
対策2 被害対象を減少させるための対策 (氾濫域における対策)	1 霞堤の機能がある地区の保全				●						9	1 各地区において河川愛護の観点から、堤防の除草や点検を実施【村田町】
	2 農業水利施設の活用(排水強化)			●	●		●				10	1 令和5年度までに南田排水機場ポンプ2基のオーバーホールによる排水機能を強化【村田町】 2 青川樋管の電動スピンドル式開閉機2基を更新及び水密ゴム2箇所を交換【大河原町】 3 沼辺排水機場が4回、鹿野排水機場が3回、試運転などの定期点検を実施【土地改良区】 4 冠水対策(遊水池の浚渫工事及び遮水板設置工事)への助成にあたり、黒沢尻用水路土地改良区、村田町、大河原町の3者で事業費の負担割合に関する協定締結に向けた協議を実施【大河原町、村田町、土地改良区】
	3 適切な排水樋管や排水機場等の操作			●	●		●				11	1 新舟渡排水機場の「操作マニュアル」を作成【村田町】
	4 土地利用規制などによる被害対象を減少させる対策(立地適正化計画)			●	●	●					12	1 都市誘導区域や居住誘導区域での開発行為(1,000m ² 以上の開発、戸別住宅3軒以上が対象)の届出が4件あり【柴田町】 ※柴田町策定済(令和4年5月)
	5 浸水範囲を減らす対策(止水壁工の設置)			●	●						13	更新なし
対策3 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 (氾濫域における対策)	1 河川における監視体制の強化	●									14	1 新川に簡易型カメラを新設【県土木(県河川課)】
	2 市町村における避難態勢の強化、マイタイムライン作成・普及・啓発	●		●	●	●					15 16	1 マイタイムラインの作成 (1) 転入者への防災マップの配布や「柴田町まちづくり出前講座」の「防災講座」の中で、避難態勢、マイタイムラインの作成を行った【柴田町】 (2) 小中学校を対象に、各家庭でマイタイムラインを作成、意識付け【柴田町】 (3) 自主防災組織を対象に、マイタイムライン講習会を実施【村田町】 2 県主催の防災指導員養成講座の活用 (1) 自主防災組織による受講(14名)【村田町】 (2) 養成講座のフォローアップ講習への申込及び受講(20名)【柴田町】
	3 排水ポンプ車の導入			●	●	●					17	1 町内の内水被害多発地域において、事前に設置して、洪水被害の軽減を図る【柴田町】
対策4 グリーンインフラ	1 グリーンインフラの取り組みの推進	●	●	●	●	●					18	更新なし